

## 新幹線協議会代表者会議開催！



9月4日13時より、JR東労組東京地本会議室において、今年度初となる新幹線協議会の「代表者会議」を開催いたしました。

当日は協議会幹事と各職場からの代表が集まり、7月の定期委員会であった委員からの発言や各職場の現状や課題などについて議論を行いました。

会議の冒頭、近藤議長より「今年に入ってから新幹線に関する大小さまざまな事象が続発している。1月には架線垂下の復旧作業で作業員が感電し負傷、3月の121Bの大滑走ではご乗車中のお客さまが負傷するという重大な事態となっている。安全問題は会社経営に直結する重大な事柄である点を再認識しなくてはならない。また各地で強権的な労務管理や会社に都合が悪いことを隠蔽するような事象が続発している。このような実態は会社の経営姿勢が生み出しているものであり、新幹線協議会として是々非々で向き合っていく必要がある」との挨拶がありました。

その後、参加者が各職場から持ち寄った現状や問題点などについて議題に沿って活発な議論が行なわれました。最後に、今回の代表者会議で明らかとなった問題点や課題についてはしっかりと会社に申し入れを行い解決を目指すこと、今後もこのような場を設け、新幹線協議会として問題の把握と解決に継続して努めていくことを参加者全員で確認しました。